ふるさと　わがまち　わが地域

青壮年を中心に心豊かな地域づくり

大山地区（更新3）261222

世帯数　　60世帯
人口　　170人
（平成26年11月末）
前回（26/8）より
世帯数　　変化なし
人口　　▲1人

★地区概要

大山地区は、良質の農地に恵まれ農業を主産業とする地区です。かつては、織物業とともに二本立てで生活していましたが、近年はサラリーマンの方が増加しています。昭和30年には48世帯、239人が居住していました。昭和45年をピークに（5年刻み）年々人口が減少する中、青壮年会が大山生活改善センターを中心に、公民館行事の6月粗大ごみ回収、7月グラウンドゴルフ大会、12月そば打ち、もしくは、餅つき大会や地域の8月盆踊り、10月秋祭りの活動を応援し、地域に活力を与えようと取り組んでいます。

これらの活動により地域のお年寄りや子どもたちを繋ぎ、心豊かな地域づくりを行っています。また、平成24年度には自主防災組織の活動として、地区内の主だったところに区民の安全確保のために海抜表示をし、地震等による津波に備えています。

大山生活改善センター

地域の活動の拠点

丹後社会体育館

明日のまちづくり、人づくりの場のために建設された体育館。

文政5年（1822）2月吉日献建。
平成3年（1991）に169年ぶりに大修理した秋祭りの御神輿。

豊栄山村広場
ドクターヘリの
臨時離着陸場
としても利用

ポリス大山の交通安全啓蒙活動
「まのカーブ！」の表示

26年度草文字「ようこそ　♡　たんごへ！！」

峰山消防署竹野川分遣所
丹後町の安心安全の要です。
後方には大山工業団地があります。

大山区自主防災会の活動の一つです。

大山工業団地内（大山古墳群域内を若者の定住を目指した工業団地に造成した場所）ゆうゆう作業所奥にある大山古墳群霊供養之碑（右側）
龍雲寺住職が昭和59年（1984）7月4日建立。「先祖の霊が供養され、工業団地のますますの発展を」と寄贈されたものです。復元された古墳（左側）

志布比神社（しふひじんじゃ）
別名、塩干神社とも言われてます。
松枝神社とともに麻呂子親王の皇弟（塩干親王）にあたり、親王とともに鬼賊平定の軍功をたてました。
塩の神様とも言われ峰山方面からも寄進者があった時代があります。
明治4年末5月村社となる。
延喜式内小社であり、明治41年（1908）4月神饌幣帛共進神社（しんせんへいはくきょうしん）に指定される。

文化・歴史

福聚山　運祥寺

福祥地蔵尊（延命地蔵尊）

稲荷神社（左端）
八柱神社
妙見神社
愛宕神社（右端）

右端の愛宕神社は、大山区城山の山頂に祀っていたが、昭和43年に志布比神社境内に移転、合祀する。（引用給田昭三郎著「大山区史」）

権現神社（給田昭三郎様方山側）

荒神山神社（大下丑小谷の山中）

三柱神社（通称、さんのうさん）
間人谷地区の国道178号線丹海バス間人車庫の北側木の下にあります。
住所は大山小字里村157番地で飛び地です。
平成24年度、由緒ある志布比神社、そして権現、荒神山、三柱の三神社を、後世に末長く引継ぐために「神社整備委員会」を発足させ、環境美化活動を強化していくこととなりました。

秋　祭　り

平成26年10月12日（日）　午前8時50分～出立ちの儀（大山改善生活センター内にて）
午前9時00分～行列（踊り子が先導）

今年の「踊り子」の面々です。

囃子方

志布比神社での祭事・奉納踊り

平成26年10月12日（日）に、京都府登録無形民俗文化財指定の「露の踊」「宝踊」「潮汲み踊」の三曲からなる「大山踊り子」を志布比神社の祭礼に奉納しました。

「大山踊り子」は、1985（昭和60）年に35年ぶりに復活し今日まで続いています。

かすりの着物姿は「キャーモチ（草餅）」を表しています。

お旅所までの御輿渡行

お旅所

お旅所での祭事・奉納踊り

うどんづくり体験と試食会（26．12．7）

粉に塩水を

公民館活動の一環です。

粉をこねています。
ごねてはいません。

粉をふんわりと混ぜています。

全体が四角形になるよう
にのばしています。

みんなで

ビニールに入れて
強いこしをだすため
に足ふみ

めん棒で厚さ2㎜
にのばしています。

包丁で4mm程度を目
安に切っています。

ご長老方です。

出来上がりです。
美味しい「てんぷら」は婦人会の皆さんが・・・。

参加した区民の皆さんで試食会です。